

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇ICTを活用した「主体的・対話的な深い学び」を実現させるための授業の実践

吉井小学校
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 阿部ひとみ	委員 校長 小西貴仁 教務 日下真子	教頭 増田ひとみ 研修 羽里理絵
------------------	--------------------------	---------------------

校長
小西 貴仁

【各校の取組状況の把握について】

教員自己評価・学校評価(児童・保護者)・全国学力調査・県ステップアップテスト結果検証・授業研究会等

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○各学年の発達段階に応じてICT機器を活用し、日常的に慣れ親しむ姿が見られるようになってきた。</p> <p>●文章の要点を素早く正確に読み取ったり、身につけた知識を既習事項と関連付けて生かし、課題を解決したりする力が、まだ十分身につけていない。</p> <p>●読書に積極的に取り組む態度が、まだ充分に育っていない。</p> <p>●個別差が顕著に見受けられる。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識技能を確実に身につけることができる。</p> <p>・パソコンやタブレットを積極的に活用し、学んだ知識を他の学習場面や日常生活に生かすことができる。</p> <p>・文章の概要を捉えて短時間で読み取ったり、必要な事柄を落とさずに、正確に理解したりすることができる。</p>	<p>・定期的に研修会を開いて教師自身のICT活用のスキルアップを図るとともに、児童の発達段階に応じて効果的にタブレットを活用する授業づくりについての研究を進める。</p> <p>・具体的操作を通したり、身近な生活に結びつけたりして理解を深めるよう指導の仕方を工夫するとともに、個に応じた指導をする。</p> <p>・『家庭読書の日』の親子読書や学年に応じたお勧めの本の推奨、読書量の見える化等、読書の幅を広げ、質を高める工夫を図り、読書活動を推進し意欲を高める。</p> <p>・「吉井小10の学習のルール」を更に徹底し、聴く力や書く力の基礎を培う。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○総合的な学習の時間や委員会活動などでは、自分たちの考えに基づいて活動したり、学習を進めたりすることができるようになりつつある。</p> <p>●多くの情報の中から必要な情報を取捨選択したり、自分の言葉で考えをまとめたりすることに課題が見られる。</p> <p>●少人数化が進み、話し合い活動に課題が見られる。</p>	<p>・多様な人々と協働しながら学習を進め、他者の話を自分の考えと比べながら要点を聴き取り、自分の考えを広げ深めることができる。</p> <p>・学習をより確かなものにするために、体験したことや考えたことを分かりやすくまとめ、文章に表したり話したりして他者に伝えることができる。</p>	<p>・若杉山辰砂探掘遺跡等、地域の教育資源を生かし、系統的・継続的に単元を構成し、体験的で探求的な教育活動を計画・工夫する。</p> <p>・多様な生活経験を通して語彙を増やし、体験したことや考えたことを正確に文章で表現する機会を増やす。</p> <p>・ステップアップタイムや給食放送の時間に、簡単な聞き取り問題等を実施し、聴く力を育てる。</p> <p>・学年を超えた場の設定等、多様な話し合い活動の工夫を図る。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自主的に学習を進めている児童は、「学習することは自分の可能性を広げてくれる」と考え、将来の進路と学びとの関わりを理解している。</p> <p>●主体的に学ぼうとする姿勢が育ちつつあるが、自主的に行動し、積極的に学習を進めようとする児童は少なく、充分であるとは言いがたい。</p>	<p>・自分の知識を広げるため、応用的・探求的な課題に継続して取り組むことができる。</p> <p>・自らの課題を見つけ、それを克服するために自分に合った学習の方法や計画を考え、工夫して取り組むことができる。</p>	<p>・主体的な学習が展開されるように授業を工夫し、単元のめあてを明示したり、導入や展開の仕方を工夫したりする。</p> <p>・「自主学習の手引き」を基に学年に応じたノート指導を行うとともに、モデルとなるノートの例を示すようにする。</p> <p>・ポジティブな行動支援を心がけ、成功体験を増やし、自信を持って意欲的に取り組めるように意欲づける。</p>			

令和6年度 学力向上ロードマップ

